

地域包括支援センターだより



〈問い合わせ〉地域包括支援センター
(役場 健康推進課内) TEL (62) 8222

高齢者虐待!!

家族内においても、地域社会においても互いに尊重される関係が大切です。

高齢期は機能低下が徐々に進んでおり、風邪を引いたり、転倒したりしているうちに、ある日、突然出来ていた身の回りのことなどが急に出来なくなってしまうことがあります。

介護力に余裕があれば、介護について十分考えることもできるかもしれませんが、家族関係不全であったり、経済的に苦しい状況である場合など高齢者介護への負担感が強く現れやすく、高齢者虐待を招くことがあります。

高齢者虐待は、叩く、蹴るなどの身体的虐待。無視、馬鹿にする、なじるなどの心理的虐待。年金を使い込み、必要な医療や介護制度を利用できなくする経済的虐待。食事・排泄・清潔などの支援をせず放置する放任。排泄時介護負担を減らすため裸体で過ごさせる他、不必要に身体への接触を行う性的虐待などがあります。

しかも、高齢者の方々が被害に遭いながら、家庭内のことだから『他に知られたくない』という思いが強かったり、経過が長い場合など、その状況に慣れが生じ、お互いに『虐待』とは感じておらず、発見が遅れ、命を危険にさらすようなことがあります。

異変の早期発見には、近所付き合いが大切です。「えっ?」、「おやっ?」などの違和感が『虐待』の早期発見に繋がります。

『虐待』かもと感じたら、南阿蘇村地域包括支援センターへ連絡をください。

南阿蘇村商工会

■菊陽町夏まつりへ出店

8月6日、菊陽町の「杉並木公園さんさん」において、第41回菊陽町夏まつりが開催されました。

出店が決定し、来場者数2万人とも言われる夏まつりで何を出店すべきか、夜遅くまで会議を行いました。

せっかく村外での出店を行うのであれば「南阿蘇の色を前面に出そう」という部員の意見により、南阿蘇が誇る、あか牛の串焼きを中心とし、生ビール、復興支援Tシャツを販売することに決定しました。

当日は夕立に見舞われ、心配されましたが、天気も回復し大勢の方が来場されました。

予想通り、あか牛の串焼きを求めのお客さまが長い行列を作り、一度も休憩することなく立ちっぱなしでフィナーレの花火を迎えました。

無事、あか牛の串焼きと生ビールが完売し、参加した部員全員が存分に商売人魂を発揮することができました。

■あそ望の郷くぎの夏まつりへ出店

8月10日、道の駅「あそ望の郷くぎの」において、毎年恒例の夏まつりが開催されました。

今回は震災の影響があった中での開催となったため、どのくらいの来場者があるのか分からない部分もありましたが、例年に勝るとも劣らない数のご来場がありました。

今年は村商工会青年部から、生ビール、から揚げ、フライドポテト、かき氷、復興支援Tシャツを販売しました。

菊陽町夏まつりから中3日ということもありましたが、菊陽町夏まつりでの勢いをそのままに見事に全て完売しました。

小さなお子様を始め、村民の皆さんの笑顔が見られた素晴らしい祭りとなりました。

